

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

| | | | |
|----------------------|-------------------|--------------|------|
| 博士の専攻分野の名称 Degree | 博 士 (学 術) | 氏名 Author | 李 正政 |
| 学位授与の要件 | 学位規則第 4 条第①・2 項該当 | | |

論 文 題 目 Title of Dissertation
ウェブニュース見出しの翻訳メカニズムに関する社会言語学的研究
ー中日翻訳と日中翻訳を中心にー

論文審査担当者 Dissertation Committee Member
主 査 Committee Chair 広島大学大学院国際協力研究科 教授 佐藤 暢治 印 Seal
審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科 教授 堀田 泰司
審査委員 Committee 広島大学大学院国際協力研究科 准教授 深見 兼孝
審査委員 Committee 広島大学大学院文学研究科 教授 高永 茂
審査委員 Committee 関西学院大学大学院
言語コミュニケーション文化研究科 教授 于 康

〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review
自国の言語で作成したウェブニュースを異言語へと翻訳し、それをウェブサイトを通じ迅速に伝えようとすれば翻訳された見出しが重要な役割を果たす。本論文はそうした問題意識から、中日対訳と日中対訳のウェブニュース見出しを対象に、それぞれの翻訳過程において見出しの情報がどう捉えられ、どう伝えられるのか、その翻訳メカニズムを明らかにしたうえで、社会言語学の視点から翻訳過程に反映された翻訳戦略を明らかにすることを目的としたものである。この目的を達成するため、本論文では、中国のニュースメディア人民網の中日対訳ウェブニュース見出しと、日本のニュースメディア NHK の日中対訳ウェブニュース見出しを資料とし、形式面と情報面からの分析を行っている。
本論文は 6 章からなる。第 1 章は序論であり、研究背景と研究目的、研究方法と研究資料、および論文の構成を述べている。第 2 章は、中国語ウェブニュース見出しと日本語ニュース見出しの特徴が論じられている。前者は情報を詳細に伝え、読者が見出しからニュース全体の情報を容易に推測可能な戦略をとっているが、後者は情報を少なめに提示することで見出しの簡潔さを実現させ、読者の興味をニュース本文に導くといった戦略がとられていることが明らかにされている。第 3 章は、中日対訳ウェブニュース見出しが用いる中日翻訳メカニズムが論じられている。中国語ウェブニュース見出しは情報を詳細に伝えるため主題を補足する補足的情報を常に加えているが、日本語に翻訳されても訳文が長くない限り、それは変わらないという翻訳メカニズムがあることが明らかにされている。第 4 章は、日中対訳ウェブニュース見出しが用いる日中翻訳メカニズムが論じられている。日本語ウェブニュースは文末情報を漢語サ変動詞語幹止め、名詞止め、助詞止め、動詞止めで表すという特徴があるが、中国語に翻訳されると直訳よりは書換え、省略等を多用し、翻訳側独自の規則もあるとは言え、情報を簡潔にするという翻訳メカニズムがあることが明らかにされている。第 5 章は、前章までの議論に従い、中日対訳ウェブニュース見出しと日中対訳ウェブニュース見出しそれぞれの翻訳戦略が論じられている。両者とも原文からの影響が大きく、前者では日本語ウェブニュース見出しが本来持つ文字数等の特徴を配慮しつつも、見出しを見れば全体が推測できるという中国語見出し固有の戦略がとられ、後者では中国語ウェブニュースが本来持つ特徴

は考慮されず、見出しは情報を簡潔に表現し本文に読者を導くという戦略がとられていることが明らかにされている。第 6 章は本論文のまとめであり、研究結果とともに、今後の課題として他の資料を用いた研究の必要性等を述べている。

本論文は、ウェブニュース見出し、またその中日翻訳及び日中翻訳に関わる研究が現在抱える問題点を理解したうえで、関連する先行研究を消化し、社会言語学の研究に不可欠な分析方法を用い結論を導き出していることが高く評価され、その研究内容は博士の学位取得水準を凌駕していると判断された。本論文の主要な内容は、学術論文 3 編（査読付きで単著）として公表済みである。

以上、審査の結果、審査委員会では、学位請求論文として独創性と確実性を兼ね備えており、博士（学術）の学位を授与するに値する内容の論文として合格と判定した。